

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年7月24日

上場会社名 株式会社アクセル 上場取引所 東
 コード番号 6730 URL http://www.axell.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松浦 一教
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 千代 進弘 TEL 03-5298-1670
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	2,831	—	589	—	581	—	402	—
27年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	32.84	—
27年3月期第1四半期	—	—

(注) 平成27年3月期第1四半期は四半期財務諸表を作成していないため、平成27年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	14,829	12,859	86.7	1,076.49
27年3月期	14,562	13,556	93.1	1,093.10

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 12,859百万円 27年3月期 13,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,400	—	200	—	200	—	140	—	11.28
通期	11,000	△0.7	240	△85.4	240	△85.5	165	△85.2	13.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

平成27年3月期第2四半期(累計)は四半期財務諸表を作成していないため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	12,402,252株	27年3月期	12,402,252株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	456,754株	27年3月期	54株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	12,261,591株	27年3月期1Q	12,402,198株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
4. 補足情報	7
(1) 生産、受注及び販売の状況	7
(2) 最近における四半期毎の業績の推移	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、平成27年3月期通期決算より非連結決算に移行しております。そのため、前第1四半期累計期間は四半期財務諸表を作成しておりませんので、経営成績に関する説明について前年同四半期との比較は行っておりません。

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和策により、企業収益や雇用情勢に改善傾向がみられるとともに、個人消費にも持ち直しの兆しがみられるなど、緩やかな景気回復基調が持続しました。しかしながら、円安に伴う輸入物価の上昇や消費税率引き上げによる影響など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社の中心的市場であるパチンコ・パチスロ機市場におきましては、安定稼働が見込める一部の有力機種種の販売は堅調に推移しているものの、遊技ホールの厳しい収益環境を背景に全体としては低調に推移しております。さらに平成26年9月に一般財団法人保安通信協会におけるパチスロ機型式試験の運用が変更されたことに伴い、パチスロ機の販売は低迷が懸念される状況が続いております。

かかる環境の中で当社は、主力製品であるパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSI(注1)(サウンド、LED(注2)制御等の機能を統合した製品を含む)を中心に各種製品の販売に注力し、パチンコ・パチスロ機市場における事業規模の拡大に注力いたしました。さらには、組み込み機器市場(注3)に向けたグラフィックスLSIの採用拡大を図るとともに、デジタル簡易無線市場に向けた各種製品の営業活動にも注力いたしました。

主力製品であるパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIは、従来製品AG4から新製品AG5への移行が順調に進展しましたが、顧客の需要動向等から前年同四半期比約4万個減の約38万個の販売となりました。また、同市場に向けたその他製品は、LEDドライバLSI(注4)は前年同四半期を上回る販売となりましたが、メモリモジュール製品は特定顧客の需要動向により前年同四半期を下回る販売となりました。以上によりパチンコ・パチスロ機向け各種LSI製品の売上高は2,768百万円となりました。その他組み込み機器向けグラフィックスLSIは46百万円、顧客の開発支援用ソフトウェアや評価基板等のその他製品は16百万円の売上高となりました。なお、当第1四半期累計期間におけるデジタル簡易無線向け製品の販売はありません。以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は2,831百万円となりました。

続いて販売費及び一般管理費は、パチンコ・パチスロ機向け演出周辺LSIの試作開発費を計上したことなどから研究開発費で499百万円を計上し、販売費及び一般管理費全体で781百万円となりました。以上により、営業利益は589百万円、経常利益は581百万円、四半期純利益は402百万円となりました。

(注1) 「グラフィックスLSI」とは、液晶表示装置等に表示を行うための当社LSI製品を意味しております。

(注2) 「LED」とは、Light Emitting Diodeの略称です。導電することで発光する半導体素子を意味しており、発光ダイオードとも言われております。

(注3) 「組み込み機器市場」とは、パチンコ・パチスロ機以外の組み込み機器の製造に係る市場として使用しております。組み込み機器とはコンピュータが内部に組み込まれており、そのコンピュータに特定のアプリケーションに特化した処理を行わせる電子装置を意味しております。医療機器や自動販売機、生活家電など多種多岐にわたる機器が組み込み機器に該当します。

(注4) 「LEDドライバLSI」とは、パチンコ・パチスロ機に搭載されるLEDを効率的に制御するためのLSIを意味しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末との比較で267百万円増加となる14,829百万円(前事業年度末比1.8%増)となりました。主な要因は、売掛金の増加(1,620百万円)、商品及び製品の増加(251百万円)に対し、現金及び預金の減少(463百万円)、有価証券の減少(1,725百万円)等によるものであります。

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末との比較で965百万円増加となる1,970百万円(前事業年度末比96.0%増)となりました。主な要因は、買掛金の増加(1,172百万円)によるものであります。

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末との比較で697百万円減少となる12,859百万円(前事業年度末比5.1%減)となりました。主な要因は、自己株式の増加(741百万円)によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年4月24日に開示しました「平成27年3月期 決算短信」に記載のとおりです。

当第1四半期累計期間の業績は、中間業績予想値に対して売上高で44.2%、営業利益で294.9%、経常利益で290.5%、純利益で287.6%の進捗となっており、営業利益以下の各利益では、中間業績予想値を超える進捗となっております。また、当四半期末の受注残高は4,583百万円となっており、当第1四半期累計期間の売上高と合算した金額は7,414百万円となり、中間売上高の予想値を超過する状況となっております。

以上のように中間業績予想に対して当第1四半期累計期間の業績は順調に進展しておりますが、当第1四半期末の受注残高には第3四半期以降に販売を予定している製品を含んでいることや第2四半期末前後の製品納期に未確定部分が多く残ること、当第2四半期において多額の研究開発支出を現状見込んでいることなどから、現時点におきましては業績予想の修正を実施する状況にはないものと判断しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,500	8,037
売掛金	550	2,171
有価証券	2,999	1,273
商品及び製品	1,483	1,734
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	153	658
流動資産合計	13,689	13,877
固定資産		
有形固定資産	297	320
無形固定資産	38	39
投資その他の資産	536	592
固定資産合計	872	952
資産合計	14,562	14,829
負債の部		
流動負債		
買掛金	170	1,343
未払法人税等	137	182
その他	662	409
流動負債合計	969	1,935
固定負債		
資産除去債務	33	33
その他	1	1
固定負債合計	35	35
負債合計	1,005	1,970
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018	1,018
資本剰余金	861	861
利益剰余金	11,650	11,681
自己株式	△0	△742
株主資本合計	13,531	12,819
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25	39
評価・換算差額等合計	25	39
純資産合計	13,556	12,859
負債純資産合計	14,562	14,829

(2) 四半期損益計算書
 (第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,831
売上原価	1,460
売上総利益	1,371
販売費及び一般管理費	781
営業利益	589
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	1
その他	0
営業外収益合計	2
営業外費用	
為替差損	2
自己株式取得費用	4
固定資産除却損	3
その他	0
営業外費用合計	10
経常利益	581
税引前四半期純利益	581
法人税等	178
四半期純利益	402

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

前第1四半期累計期間は四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較は記載しておりません。

①生産実績

当第1四半期累計期間の生産実績は次のとおりであります。

区分	当第1四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	
	百万円	前年同四半期比 %
パチンコ・パチスロ機向けLSI製品	3,081	—
組み込み機器向けLSI製品	12	—
その他	13	—
合計	3,108	—

(注) 1. 金額は販売価額によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第1四半期累計期間の受注実績は次のとおりであります。

区分	当第1四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)			
	受注高 百万円	前年同四半期比 %	受注残高 百万円	前年同四半期比 %
パチンコ・パチスロ機向けLSI製品	3,066	—	4,527	—
組み込み機器向けLSI製品	65	—	54	—
その他	16	—	0	—
合計	3,148	—	4,583	—

(注) 1. 金額は販売価額によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第1四半期累計期間の販売実績は次のとおりであります。

区分	当第1四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	
	百万円	前年同四半期比 %
パチンコ・パチスロ機向けLSI製品	2,768	—
組み込み機器向けLSI製品	46	—
その他	16	—
合計	2,831	—

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 当第1四半期累計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第1四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	
	百万円	%
緑屋電気株式会社	1,934	68.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 最近における四半期毎の業績の推移

平成28年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 27年4月～27年6月	第2四半期 27年7月～27年9月	第3四半期 27年10月～27年12月	第4四半期 28年1月～28年3月
売上高	2,831	—	—	—
売上総利益	1,371	—	—	—
営業利益	589	—	—	—
経常利益	581	—	—	—
税引前四半期純利益	581	—	—	—
四半期純利益	402	—	—	—
1株当たり四半期純利益	32.84円			—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	14,829	—	—	—
純資産	12,859	—	—	—
1株当たり純資産	1,076.49円	—	—	—

<参考情報>

平成27年3月期第1四半期から第3四半期は四半期連結財務諸表を作成していたため、四半期毎の業績の推移は四半期連結会計期間の情報を記載しております。

平成27年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 26年4月～26年6月	第2四半期 26年7月～26年9月	第3四半期 26年10月～26年12月
売上高	3,326	2,610	3,380
売上総利益	1,569	894	1,491
営業利益	888	208	770
経常利益	890	212	773
税金等調整前四半期純利益	890	212	771
四半期純利益	634	147	552
四半期包括利益	637	132	549
1株当たり四半期純利益	51.13円	11.86円	44.54円
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末
総資産	14,013	14,470	14,875
純資産	13,242	13,374	13,614
1株当たり純資産	1,067.72円	1,078.43円	1,097.72円